

伊丹市行財政プラン（H28年度～H32年度）



◆ 概要

人口減少社会、公共施設の老朽化、地方創生など、地方を取り巻く環境が大きく変化する地方公共団体の行財政運営は、将来を見据えた経営能力が重要視されるとともに、自主的・自立的な財政運営が求められています。

また、複雑化、多様化する行政需要のすべてに対応することは容易ではないことから、限られた財源を最大限有効かつ計画的に活用する効率的で効果的な財政運営を行っていく必要があります。

本市では、行財政プランを策定し、

「将来を見据えた持続可能な行財政運営～30年先も早期健全化団体に陥らないための財政基盤の構築～」

を基本理念とし、計画期間である平成28年度から平成32年度において、次の4項目について積極的に取り組みます。

①魅力ある都市経営(伊丹創生)

(人口減少対策及び地域活性化等に資する事務事業の重点化)

②公共施設マネジメント

(人口減少社会に対応した公共施設等の量的・質的最適化)

③効率的な行政経営

(事業の効率化等の歳入面・歳出面における徹底した行政改革)

④健全な財政運営

(将来を見据えた計画的な財政運営及び規律の確保)

また、取組状況については、予算・決算において検証し、市民の皆様にお知らせしていきます。

◆ 平成28年度当初予算(案)取組効果見込額

予算時効果見込額合計 【 1,352百万円】

(内、一般会計) 【 1,090百万円】

(内、特別会計) 【 262百万円】

効率的な行政経営

◆PPP(公民連携)の推進

【小計 705】

主な内容	予算時効果見込額
・市有財産の売却	567
・ごみ収集体制の見直し、ネーミングライツ事業実施 他	138

◆事務事業の見直し・効率化

【小計 535】

主な内容	予算時効果見込額
・徴収体制の強化、LED化推進事業 他	273
特別会計 徴収体制の強化、特定健診の促進	262

◆第三セクターの経営健全化

【小計 0】

主な内容	予算時効果見込額
・スポーツセンターのあり方見直し 他	0 (H29以降)

◆地方公営企業等の経営健全化

【小計 111】

主な内容	予算時効果見込額
・収益事業収入の確保	100
・各特別会計の廃止(交通災害等共済、中心市街地駐車場 他)	11

◆受益者負担等の見直し

【小計 1】

主な内容	予算時効果見込額
・公共施設等に係る受益者負担の見直し	1